

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	担当部署
高齢者に対して米の支援をして欲しい。	高齢者への支援について、現時点では予算や計画にはないが、将来的な検討課題としたい。なお、子育て世代への経済的支援として、2学期からの給食費無償化を実施する。	福祉政策課
市の市政財政戦略室はあるのか。	現時点では企画課が主担であるが、成長戦略課の設置も考えている。ふるさと寄附で税込アップを図りたい。	企画課
市長はどんなリーダー像を目指しているか。	まずは自分自身が走り回って汗をかくことに専念したい。市民の皆様や職員と一緒に岸和田を良くしていきたい。	企画課
泉州山手線及び土生郷修斉線の早期完成。	泉州山手線の整備（府事業）については、令和6年度より工事の準備段階である測量業務や道路設計等に着手されているが、山直東地区まちづくりの進捗と歩調を合わせつつ、今後概ね10年間で岸和田中央線までの約2.3kmの整備が予定されている。	都市整備課
市街化調整区域の見直し。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続きについては、都市計画法に基づき府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大については原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入は困難であると考え。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的とした一体的な日常生活圏を構成する概ね1ha以上の区域において、当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住宅の建設が可能となる場合がある。	都市計画課
小・中学校統合、幼稚園・保育所の統合。	幼保一元化は必要であると考えている。年12億円の財源創出効果が見込まれており、高齢者施策の充実に繋げたいと考えている。	学校適正配置推進課
文化財に対する力の入れ方が弱い。文化財をメインとしたマップを作って欲しい。	文化財のマップとしては、本市ホームページの「祭都N a v i きしわだ」内に「遺跡・文化財分布図」を公開している。「岸和田市観光ガイドマップ」や「岸和田城下町まち歩きマップ」に文化財の一部が掲載されている。	郷土文化課
町会加入者の減少。	加入率向上や地域コミュニティ活性化などの取組みについて、好事例を取りまとめ、校区長や町会長に情報提供するよう担当課に指示している。	自治振興課
農業が主要産業の地域であり、広報にも載っている農業の課題の部分について把握しているか？ 農業の担い手がない。農地の管理をする人もいない。農業の未来を考えておいて欲しい。	農地を次世代に引き継ぐために策定する地域計画の策定手順については、市街化調整区域内で指定している農業振興地域を9つの地域に分けて、座談会を開催した。座談会では、地域の現状と課題を整理し、地域における農業の将来像を話し合い、概ね10年先の「農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標」と「地域の農業を担う人が耕作する農地を一筆ごとに反映した目標地図」を作成し、関係団体への意見照会や計画案の公告・縦覧等の手続きを経て、令和7年3月31日に策定・公告を行った。今回策定した地域計画は、農地の集積・集約化を進めるとともに、地域における農地の計画的な保全や適切な利用を一体的に推進するスタート地点であると認識している。策定過程において様々な課題を聞いた内容のうち、すぐには取り組めない難しい課題は関係者全体で共有し、解決の方向性についての話し合いを続けながら、将来における農業の将来像に沿った力強い岸和田農業の実現に向けた重層的な取り組みを施策化していきたいと考えている。	農林水産課
市から町会への様々な補助金制度があるが、基本的に一部補助のため、残額は町会費等から支出している。規模の小さな町会は会員負担が大きので、補助割合を高めるなどの検討をお願いしたい。	ご意見として承るが、現行補助金制度へのご理解をお願いしたい。	自治振興課
修斉小学校の放課後こども教室がエアコンがない部屋。環境の改善できないか。なぜエアコンのある部屋を貸せないのか。ボランティアの人も80歳を超えている人もいる。	特別教室のエアコンの設置率は低いため、できる限り改善したい。放課後子ども教室の運営会議でも同様の意見が挙がった。取り急ぎエアコン設置部屋が使えるよう学校側と調整する。	学校教育部
修斉・天神山の7割ぐらいが和式トイレのまま。	児童数、使用する教室、トイレの配置状況を考慮し、給排水衛生設備基準に基づき必要数以上の洋式トイレを設置済み。一部残っている和式トイレについては、修繕を要するものは洋式化する予定。	学校管理課
庁舎建設、竣工は。	新庁舎については、opsol福祉総合センター横の敷地への建設が決まっている。	庁舎建設準備課
企業が出ていかないよう魅力ある市にして欲しい。農村地域の中にも開発できるような区割りを。	企業の良好な操業環境を維持するための設備投資に対して産業支援助成金を交付するなど企業の市外流出を防止するよう努めている。	産業政策課

アライグマ、イノシシ、カラス等の害獣の被害対策を強化を考えて欲しい。	市では岸和田市鳥獣被害防止計画を策定し、イノシシ、アライグマ、カラス、カワウを対象とした捕獲、防護、地域の環境整備の3本柱を基本とした対策を実施している。捕獲については、①「岸和田有害捕獲隊」に有害鳥獣捕獲業務とアライグマ処置作業を委託。②緊急捕獲事業を官民協働で実施。③アライグマ捕獲檻の貸し出し、④関係者を対象した有害鳥獣被害対策研修、⑤担い手確保に向けた狩猟免許試験予備講習会受講料の補助金交付を行っている。防護については、先の「岸和田有害捕獲隊」への有害鳥獣捕獲業務委託にて、春～夏、秋～冬の期間で、カラスとカワウを対象とした追い払い活動を実施している。地域の環境整備については、有害鳥獣の隠れ場所となる農地の草刈り指導や道路法面の雑草除去の要請などを実施している。	農林水産課
地域と行政に溝がある。まちづくりを市民協議会で練ってやっているが職員に覇気を感じない。職員が地域に寄り添って欲しい。	一生懸命取り組む職員も少なくはない。地域の皆様に寄り添えるよう、接遇など色々と改善していきたい。	人事課
修斉小学校の前の横断歩道の線が消えかかっている。危険予防のため府に要求して欲しい。山手側から小学校前はスピードを出して通る車が多いので、小学校があることを知らせる看板などを設置して欲しい。	9/1合同現地点検を実施（メンバー：地元、学校、警察、大阪府、岸和田市）小学校前道路＝府道岸和田港塔原線 ・①横断歩道の塗替え（警察で対応・検討）、②-1速度取締の実施の検討（警察で対応・検討）、②-2小学校があることのお知らせ（施設所管課で実施）	建設管理課